

事業名	年間開催回数	会場	参加者	参加者数	事業内容
7ヵ月もぐもぐの日	全6回	保健福祉ふれあいセンター	生後7・8ヵ月の赤ちゃんとその親	延べ45名 (計5回)	離乳食期のお子さんとその親を対象に、離乳食の進行状況等について、試食を交えながら食事に関する相談を受ける。
乳幼児健診(2ヵ月・4ヵ月・10ヵ月・1歳半・2歳・3歳児健診)	各月1～2回	保健福祉ふれあいセンター	各月齢対象児		各健診時に、授乳・離乳食・幼児食等食に関する個別相談。
育児相談	月1～2回	子育て支援ルーム	未就園児の親子	延べ221名 (計12回)	月曜日の自由利用時間における、保健師・管理栄養士による身体計測、個別相談等。
マタニティ教室	全6回 (食については全3回)	子育て支援ルーム	妊婦・夫	延べ (計2回)	妊娠期における食事等について管理栄養士が担当するコース(母体管理等について助産師が担当するコースと合わせて2回を3クール開催)。
おいしいもの食べよの日	月2回程度	子育て支援ルーム	親子各10～20組程度	延べ組 (計回)	保育園栄養士による、未就園児(1、2・3歳児)の親子を対象とした広場の中での、おやつ・軽食の提供。
すくすく親子広場、お昼会	年数回	子育て支援ルーム	親子各20～30組程度	延べ101組 (計7回)	なかよし広場：未就園児の親子を対象として、食生活改善推進員が作った郷土食等(おやき、やしょうま、豚汁)の紹介・試食。 お昼会：月1回程度開催している育児相談の終了後、それぞれ持参したおにぎり等と一緒に、ふるまった汁物を皆で集まっていたく。 講話：夏の水分補給について、就園前の母親向けに講話。
幼稚園・保育園食育指導	各年1回	白馬幼稚園 ・しろま保育園	年長園児・保護者	延べ87名	各園年長園児・保護者を対象に、村内の小中学校養護教諭・栄養士・行政保健師・栄養士が担当する食育指導・講話。
食育の日チラシ配布	年1回				「食育の日」PRのチラシを、降園時に配布。
食改伝達講習会	年数回	多目的調理室			食改会員による、県・支部からの紹介料理の調理実習、試食。
食改地区活動	年数回	各地区公民館等			食改会員により企画・開催。地区の健康教室に合わせた料理紹介や試食、男性向けの料理教室等。
文化祭展示		ウイング21			食改による公民館料理教室から紹介料理の展示、レシピ配布。
社会福祉大会ふるまい		保健福祉ふれあいセンター			食改によるおこわ、餅つきのふるまい。
郷土食を作ろう	全3回	多目的調理室	就園児～の子を持つ母親	延べ32名 (全3回)	子育て支援ルームによる開催で、食生活改善推進員が講師となって郷土食の紹介と調理実習、試食を行う。
公民館事業 (健康おばちゃんの料理教室、乾燥野菜加工講座)	9～11月(全6回)	多目的調理室	参加者公募	延べ49名 (全6回)	公民館事業のひとつとして住民から希望者を募り、食改会員が講師となり、それぞれ分担地区会員で考えたメニューの調理実習、試食を行う。
季節のふれあい弁当	7・9・11月		高齢者世帯の希望者	延べ232食 (全6回)	社会福祉協議会における共同募金の分配金活用事業。食改が調理したお弁当を、民生委員・ボランティアが高齢者世帯へ届ける。
介護者のつどい			介護者		地域包括支援センターによる介護者のつどいの中の1回として、簡単にできる料理紹介(調理実習・試食)、交流会。